

NACSIS-CAT/ILL

ニュースレター

Contents

1. NACSIS-CAT/ILL ホームページリニューアル	2
2. 「Windows Vista 等でのクライアント利用への CAT/ILL サーバの本体策」 2 業務用・検索用サーバへの適用の延期について	2
(NACSIS-CAT)	
3. 図書書誌レコード ID の更新について	2
4. NII での目録品質管理 (3)	3
(NACSIS-ILL)	
5. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 19 年度第 3 四半期)	4
(その他)	
6. メタデータ・データベース共同構築事業の終了について	5
7. 平成 19 年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップの実施報告	6
8. NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材の利用予定について	7
9. 会議開催報告 (平成 19 年 4 月～平成 20 年 1 月)	8
10. お詫びと訂正	12
(付録)	
・ コーディングマニュアル (第 2 章 和図書書誌レコード 冒頭)	
・ コーディングマニュアル (第 6 章 和雑誌書誌レコード 冒頭)	



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号
学術コンテンツ課

NACSIS-CAT 担当…………… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL 担当…………… Tel:03-4212-2320 Fax: 同上

基盤企画課

システム管理担当 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

教育研修事業担当 …… Tel:03-4212-2177 Fax: 同上

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

NACSIS-CAT/ILL ホームページリニューアル

平成 20 年 2 月に、NACSIS-CAT/ILL ホームページのリニューアルを行いました。

順次、旧ページからの移行作業を行ってまいります。しばらくの間、表現の不統一等の御迷惑をおかけしますが、御了承ください。また、トップページ以下の URL を全面的に変更しました。特定のページをお気に入りやブックマーク等に登録されている場合は、設定変更をお願いします。

- ・国立情報学研究所目録所在情報サービス (NACSIS-CAT/ILL) ホームページ

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

(NACSIS-CAT 担当)

「Windows Vista 等でのクライアント利用への CAT/ILL サーバの本対策」業務用・検索性サーバへの適用の延期について

本誌 22 号 (2007.11.30) にてお知らせしました「Windows Vista 等でのクライアント利用への CAT/ILL サーバの本対策」の業務用・検索性サーバへの適用につきまして、平成 20 年 2 月頃を予定していましたが、一部仕様について現在問題点が指摘されています。そのため、業務用・検索性サーバへの適用は延期させていただきます。

仕様の変更、業務用・検索性サーバへの適用時期が決定しましたら、NACSIS-CAT/ILL のホームページ上にてお知らせします。

(NACSIS-CAT 担当)

図書書誌レコード ID の更新について

現在使用している図書書誌レコード ID が、平成 21 年度中には上限値に達する見込みです。それに伴い、図書書誌レコード ID を更新する予定です。新しいレコード ID は、<BB11111111>のように、「BB+8桁の番号 (最後はチェックデジット)」となります。

更新のスケジュールについては現在調整中です。詳細が決まり次第、本誌および NACSIS-CAT/ILL ホームページにてお知らせします。

(NACSIS-CAT 担当)

NII での目録品質管理(3)

NII での目録品質管理の実際を紹介する第3回は、雑誌に関連する処理についてです。

雑誌の書誌コントロールは、図書と異なり NII ですべて行うこととなっているため、書誌作成・修正は、参加館からの報告を受けるところからスタートします。またその根拠となる情報源をいただくことがとても重要になります。

□ 新規作成・修正・変遷報告

いただいた報告は、「書誌修正報告」、「新規書誌作成報告」、「変遷報告」、「質問」等へ分類され、各処理の流れに乗ります。「書誌修正報告」処理では、変遷リンクの確認、既存書誌との重複確認、書誌データの検証などを行いますが、特に書誌データの検証ではいただいた情報源を元に入念なチェックが行われます。この後、レコード調整連絡、重複統合、変遷作成などの処理を行います。

新規作成後、更新されないまま2ヶ月を過ぎても NII に報告・情報源送付がない書誌レコードを機械的に抽出してデータチェックを行う作業も行っています。

□ 参加館の皆様へのお願い

- ・ 書誌を新規作成・修正した場合は、必ず情報源のコピーをお送りください。
- ・ 特に修正前画面（もしくはどこを修正したか）は、貴重な情報となります。
- ・ 「削除予定レコード」を新たな書誌として復活させないでください。前の情報を持った他機関によって所蔵が付けられることがあり、混乱の原因となります。

□ 報告時に送付するもの

(1) 報告内容についての説明、報告者の連絡先等

(2) 書誌レコードの詳細表示画面の画面コピー等

新規作成：作成した書誌レコードの画面

書誌修正：修正前の画面と、修正後の画面の両方

タイトル変遷：関連する書誌レコードの画面

変遷注記用データシート（本誌 16 号付録）

(3) 報告の根拠となった情報源

新規作成：記述の根拠となった号の規定の情報源箇所のコピー等

書誌修正：修正する根拠となった巻号・情報源箇所のコピー等

タイトル変遷：タイトル変遷と考える根拠となった情報源箇所のコピー等

変遷前誌・後誌の作成や修正を伴う場合には併せてそのコピー等

□ 情報源送付時の注意点

(1) 情報源コピーは片面 A4 サイズとしてください。縮小・拡大により、文字の判別が難しくなる等の問題がある場合には、事前に御相談ください。

(2) コピーによって、黒ずみや、地色と紛れやすくなる等の恐れのある部分については、補記などの対応をお願いします。

(3) 情報源上の表示を強調される場合は、マーカー等で塗りつぶすのではなく、アンダーラインで表現してください。

(4) コピーだけでは情報源箇所が不明確な場合には、表紙、標題紙、裏表紙、奥付、標題紙の裏、本文第一頁等のような、情報源箇所の名称を御記入ください。

(NACSIS-CAT 担当)

ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 19 年度第 3 四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

■ 平成 19 年度第 3 四半期 (平成 19 年 10 月～12 月)

- ・利用機関数：724 (※ 債務、債権ともに発生しなかった機関は 3 機関)
- ・処理対象 ILL レコード件数：278,445 (NACSIS-ILL 総レコード件数：314,191)

		対債務機関	対債権機関
機関数		436	285
NII の請求額/支払額		28,254,314	▲28,182,798
内 訳	相殺金額	28,233,560	▲28,233,560
	運営費 (税込)	22,050	---
	前期債権繰越額	▲1,296	▲350
	振込手数料	---	46,626
	次期繰越分	---	4,486

(NACSIS-ILL 担当)

メタデータ・データベース共同構築事業の終了について

国立情報学研究所では、平成14年10月より、メタデータ・データベース共同構築事業を実施していましたが、平成20年3月末をもって事業を終了させていただくこととなりましたので、お知らせします。本事業への御協力を賜り、誠にありがとうございました。

1. 事業終了に係る経緯

本事業は、大学・研究機関等がインターネット上において発信している学術情報資源のメタデータをデータベース化することにより、学術情報の円滑な流通を図り、各大学の研究成果を広く世界に発信することを支援する目的で実施しました。

272機関（うちデータ入力機関数126機関）が御参加くださり、一定の成果を上げることができましたが、平成20年1月現在、収録データの約2割がリンク切れとなっており、入力はほとんど行われていない状況です。

一方、本研究所では、平成17年度より、機関リポジトリの構築・連携を支援する目的で、学術機関リポジトリ構築連携支援事業を開始しました。機関リポジトリでは、メタデータのみならず論文等の本文も含めて、より効果的に学術情報の発信が可能となります。平成20年1月現在、国内で72の機関リポジトリが立ち上がり、今後の更なる展開が期待されているところです。

このような状況に鑑み、平成20年3月末をもってメタデータ・データベース共同構築事業を発展的に解消し、今後は学術機関リポジトリ構築連携支援事業による学術情報発信支援を行っていくこととなりました。

2. 事業終了時期

- ・ 平成20年3月31日（月）

3. 事業終了内容

- ・ メタデータ・データベース構築システム（含むLCSH入力支援システム）
URL : <http://metasv.nii.ac.jp/metadata/>
- ・ JuNii 大学情報メタデータ・ポータル 試験提供版
URL : <http://ju.nii.ac.jp/>

(参考)

- ・ メタデータ・データベース共同構築事業
URL : <http://www.nii.ac.jp/metadata/>
- ・ 学術機関リポジトリ構築連携支援事業
URL : <http://www.nii.ac.jp/irp/>

(機関リポジトリ担当)

平成 19 年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップの実施報告

平成 19 年度から新たな研修「NACSIS-CAT/ILL ワークショップ」を設置し、平成 19 年 10 月 24 日(水)～26 日(金)に開催しました。

この研修は、昨年度まで長年に亘り実施してきた「総合目録データベース実務研修」(2 週間)の在り方を見直して再編成したものです。NACSIS-CAT/ILL に関する課題を共有する受講者が 3 日間集中的に討議を行い、今後の運用に活かしていくとともに、目録関連業務における中核的役割を担う人材の養成を目的としています。

今年度は、下表のとおり設定した二つのテーマに基づき、関連講義、グループ別討議、成果発表・全体討議を行いました。

まず、NII、大学、民間業者の講師から、現状を把握する上で参考となる講義や事例報告を受け、現場の実情を踏まえた質疑応答・意見交換を行いました。また、受講者 17 名が各自関心を持つ課題に沿って 4 つのグループに分かれ、NII 職員が務めたオブザーバとともに、各課題に基づく問題提起や改善案の作成に取り組みました。最終日には、各グループからの発表を踏まえて、課題解決の方向性を全員で探る意見交換を行い、今後の業務につながる成果を確認しました。

テーマ・発表タイトル	修了者 (17 名)
(1) NACSIS-CAT/ILL の運用ガイドラインと評価	
「NACSIS-CAT/ILL の運用ガイドラインと評価」	赤塚 勝 (東邦大学) 小嶋 静恵 (首都大学東京) 猿橋 キヨミ (北海道大学) 宮地 健士 (大阪大学) 山中 知美 (広島大学)
(2) 目録業務のマネージメント	
「目録業務のマネージメント力は、本当に不足しているのか？」	小清水 裕子 (東北大学) 竹下 善史 (酪農学園大学) 中橋 巧也 (大阪市立大学) 平澤 友貴 (立教大学)
「目録業務のアウトソーシング － 崖っぷち図書館の生き残り策? －	小泉 啓子 (専修大学) 首藤 佳子 (小樽商科大学) 古野 奈央子 (首都大学東京) 松野 宏 (鳥取大学)
「スキルの継承と新人教育・研修」	木越 みち (山口大学) 辻 水衣 (広島経済大学) 堀 茂 (名古屋大学) 前川 敦子 (大阪教育大学)

今年度の研修カリキュラム及び講義資料、受講者の成果物等は、教育研修事業ウェブサイトにて公開していますので、是非御覧ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/>

(教育研修事業担当)

NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材の利用予定について

国立情報学研究所では、NACSIS-CAT/ILL システムの内容や操作方法について、時間や場所に問わず学習できるセルフラーニング教材の開発を進めています。

平成 19 年度は、試験的に講習会会場での学習を行ったほか、二期に分けてモニタリングを実施しました。17 機関 132 人の方からアンケートに御協力いただいた第一期モニタリングに続き、2 月末日まで実施しました第二期モニタリングについても、皆様からの教材に関する御意見を多数いただいています。お寄せいただいた御意見につきましては、順次教材改善へと反映させていく予定です。

また、平成 20 年度は、次のような利用を予定しています。

1. 利用可能な教材

- ・ 目録所在情報サービス (NACSIS-CAT/ILL) とは
- ・ 目録システム (NACSIS-CAT) 入門
- ・ 目録情報の基準. 図書編
- ※目録情報の基準. 雑誌編
- ※ILL システム (NACSIS-ILL) 入門
- ※ILL システム基本操作(1)－目録検索
- ※ILL システム基本操作(2)－複写業務
- ※ILL システム基本操作(3)－貸借業務
- ※は平成 19 年度中に完成予定

2. 利用方法

2-1. 目録システム・ILL システム講習会での事前学習

受講が決定された方に ID を発行し、受講前の事前学習を必須とする予定です(講習会は、事前学習を前提とした講義・実習を行います)。

学習する教材名などの詳細については、受講決定通知と共にお知らせします。

2-2. Web からの申込

NACSIS-CAT/ILL システムや教材について関心のある方を始めとして、より多くの方に御利用いただく予定です。

申し込み方法などの詳細は、後日 Web 上にてお知らせします。

今後も、引き続き教材の拡充と改善に努めてまいりますので、御活用ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/>

(教育研修事業担当)

会議開催報告 (平成19年4月～平成20年1月)

●国立情報学研究所学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会

委員名簿

氏名	所属・職名
行木 孝夫	北海道大学大学院理学研究院数学部門助教
加藤 信哉	東北大学附属図書館総務課長
逸村 裕	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授
宇陀 則彦	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科准教授
荒井 幸代	千葉大学大学院工学研究科准教授
竹内比呂也	千葉大学文学部准教授
山本 和雄	東京大学附属図書館総務課専門員
横田 治夫	東京工業大学学術国際情報センター教授
木下 聡	金沢大学情報部情報企画課長
寺井 仁	名古屋大学附属図書館研究開発室専任助教
島 文子	京都大学附属図書館総務課図書館専門員
平元 健史	大阪大学附属図書館事務部長
池田 大輔	九州大学大学院システム情報科学研究院准教授
佐藤 義則	東北学院大学文学部教授
中元 誠	早稲田大学図書館事務副部長兼総務課長
村上 泰子	関西大学文学部准教授
渡邊 隆弘	帝塚山学院大学人間文化学部准教授
主査 根岸 正光	国立情報学研究所教授
安達 淳	国立情報学研究所学術基盤推進部長・教授
大山 敬三	国立情報学研究所教授
山地 一禎	国立情報学研究所准教授
早瀬 均	国立情報学研究所学術基盤推進部次長

平成19年度第1回

[日時] 平成19年7月2日(月) 14:00-14:30

[場所] 国立情報学研究所 20階ミーティングルーム

- [議事]
1. 前回議事要旨案について
 2. 図書館連携作業部会のミッションについて
 3. 今後の全体スケジュール
 4. その他

平成 19 年度第 2 回

[日時] 平成 19 年 10 月 15 日 (月) 15:30-17:30

[場所] 国立情報学研究所 20 階ミーティングルーム

- [議事]
1. 前回議事要旨案について
 2. 学術機関リポジトリ構築連携支援事業平成 20 年度委託事業公募について
 3. 機関リポジトリメタデータフォーマット検討について
 4. 中長期的視点から見た次世代目録所在情報サービスあり方についての中間報告
 5. 総合目録データベース遡及入力事業 平成 20 年度実施について
 6. 平成 19 年度「図書館と NII の集い」Library Forum 2007
 7. その他

平成 19 年度第 3 回

[日時] 平成 20 年 1 月 17 日 (木) 15:00-17:00

[場所] 国立情報学研究所 20 階講義室

- [議事]
1. 前回議事要旨案について
 2. 学術機関リポジトリの現状分析について
 3. 学位論文電子化に関するワーキンググループの活動について
 4. 学術機関リポジトリ構築連携支援事業 平成 20-21 年度委託事業公募について
 5. 学術機関リポジトリ普及方針について
 6. 機関リポジトリの課題
 7. 国立大学図書館協会学術情報委員会と国立情報学研究所図書館連携作業部会次世代目録ワーキンググループとの合同ワークショップについて
 8. 次世代目録ワーキンググループ進捗報告
 9. その他

●学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会次世代目録ワーキング・グループ

委員名簿

氏名	所属・職名
加藤 信哉	東北大学附属図書館総務課長
竹内比呂也	千葉大学文学部准教授
山本 和雄	東京大学附属図書館総務課専門員
チーフ 佐藤 義則	東北学院大学文学部教授
村上 泰子	関西大学文学部准教授
渡邊 隆弘	帝塚山学院大学人間文化学部准教授
オブザーバー 古野奈央子	首都大学東京図書館情報センター本館
オブザーバー 柴尾 晋	明治大学学術・社会連携部図書館事務室図書館管理グループ
根岸 正光	国立情報学研究所教授
安達 淳	国立情報学研究所学術基盤推進部長・教授
大山 敬三	国立情報学研究所教授
山地 一禎	国立情報学研究所准教授
早瀬 均	国立情報学研究所学術基盤推進部次長

平成19年度第1回

【日時】 平成19年7月2日(月) 14:45-16:35

【場所】 国立情報学研究所 20階 講義室1

- 【議事】
1. 検討にあたってのスケジュール
 2. 次世代目録所在情報サービスのあり方の検討について
 3. 国立情報学研究所オープンハウス CSI ワークショップ「図書館目録の将来」について
 4. その他

平成19年度第2回

【日時】 平成19年9月5日(水) 15:00-18:00

【場所】 国立情報学研究所 20階 講義室2

- 【議事】
1. 6つの論点について
 2. 公立大学協会図書館協議会からの意見
 3. その他

平成19年度第3回

【日時】 平成19年9月18日(火) 15:00-17:30

【場所】 国立情報学研究所 20階 講義室1

- 【議事】
1. 前回議事要旨案について
 2. 発生源入力について
 3. 運用, インセンティブのモデル
 4. ERMSについて
 5. 公立大学協会図書館協議会からの意見
 6. 他会議への報告について
 7. その他

平成19年度第4回

【日時】 平成19年12月25日(火) 15:00-17:00

【場所】 国立情報学研究所 20階 講義室1

- 【議事】
1. 前回議事要旨案について
 2. 次世代目録に関する今後の検討について
 3. その他

●電子情報資源管理システム (ERMS) 実証実験会議

参加機関：9大学

北海道大学, 東北大学, 筑波大学, 千葉大学, 名古屋大学, 京都大学

オブザーバー：九州大学, 早稲田大学, 慶應義塾大学

平成19年度第1回

【日時】 平成19年7月26日(木) 9:00-17:30

【場所】 国立情報学研究所 20階 講義室, 実習室

- 【議事】
1. 電子情報資源管理システム (ERMS) 実証実験の進め方について
 2. 検討課題について
 3. その他

平成19年度第2回

【日時】 平成19年11月20日(火) 14:00-16:20

【場所】 国立情報学研究所 20階 ミーティングルーム

- 【議事】
1. 電子情報資源管理システム (ERMS) 実証実験の現状報告
 2. 今後の実証実験の進め方について
 3. その他

(NACSIS-CAT 担当)

お詫びと訂正

本誌 17 号 (2006.3.31) の付録にて、下記の誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

なお、修正部分を本号付録に添付しました。

	誤	正
(1.1) コーディングマニュアル (第 2 章 和図書書誌レコード) 冒頭〔目録規則との対応関係〕	「日本目録規則 1987 年版 改訂 3 版 第 13 章継続資 料」	「日本目録規則 1987 年版 改訂 3 版 」
(1.3) コーディングマニュアル (第 6 章 和雑誌書誌レコード) 冒頭〔目録規則との対応関係〕	「日本目録規則 1987 年版 改訂 3 版 第 13 章継続資 料」	「日本目録規則 1987 年版 改訂 3 版 」

(NACSIS-CAT 担当)

第2章 和図書書誌レコード

この章では、和図書として扱うべき単行書誌単位のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定されていない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

第3章から第7章で規定する事項のうち、この章と共通するものについては、それぞれの章でさらに別の規定が示されていない限り、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との対応関係〕

それぞれのフィールドにデータ記入を行う際に準拠すべき「日本目録規則1987年版改訂3版」（以下NCR87R3という）の条項番号を、以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

番号を丸括弧で括弧してあるものは、参照すべき条項であるが、当該条項に準拠するわけではないことを示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」と相違する事項に関しては、「目録情報の基準」に従うことに注意する必要がある。（⇒第50章、第51章）

2.0.1	固有のタイトル	—
2.0.2	書誌構造	—
2.0.3	出版物理単位	(1.10)
2.0.4	複製・原本代替資料	1.0.3.1A
2.0.5	付属資料	1.5.4
2.0.6	更新資料	13
2.1.1	ID	—
2.1.2	MARC	—
2.1.3	GMD	(1.1.2, 2.1.2)
2.1.4	SMD	(1.1.2, 2.1.2)
2.1.5	YEAR	—
2.1.6	CNTRY	—
2.1.7	TTL	—
2.1.8	TXTL	—
2.1.9	ORGL	—
2.1.10	REPRO	—
2.1.11	VOL	1.10
2.1.12	ISBN	1.8.1, 2.8.1
2.1.13	PRICE	1.8.3, 2.8.3

変更

変更

〔目録規則との対応関係〕 (続)

2.1.14 X I S B N	1.8.1, 2.8.1
2.1.15 I S S N	1.6.5, 1.8.1, 2.6.5
2.1.16 N B N	1.8.1
2.1.17 N D L C N	1.8.1
2.1.18 G P O N	1.8.1
2.1.19 O T H N	1.8.1
2.2.1 T R	1.1, 2.1, 22
2.2.2 E D	1.2, 2.2
2.2.3 P U B	1.4, 2.4
2.2.4 P H Y S	1.5, 2.5
2.2.5 V T	(1.7, 2.7), 22, 26
2.2.6 C W	(1.7, 2.7)
2.2.7 N O T E	1.7, 2.7
2.3.1 P T B L	1.1, (1.6), 2.1, 13.1, 22, 26
2.3.2 A L	23
2.3.3 U T L	26, 付録4
2.4.1 C L S	25
2.4.2 S H	24

第6章 和雑誌書誌レコード

この章では、和雑誌として取り扱うべき書誌レコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及び修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定していない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

この章で特に規定していない事項については、第2章の規定に従ってデータ記入を行う。

[目録規則との対応関係]

この章のそれぞれの項目において準拠すべき「日本目録規則 1987年版改訂3版」(以下 NCR87R3 という)の条項番号を以下に示す。

「-」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

丸がっこ内の番号は、参照すべきであるが準拠するわけではないことを示す。

なお、準拠するべき条項であっても「目録情報の基準」と相違する事項に関しては、「目録情報の基準」に従う。

6.0	通則	
6.0.1	タイトル変遷	13.0.2.1, 13.1.1.3
6.0.2	複製資料	—
6.0.3	総称的タイトル	—
		—
6.1	ID&コードブロック	—
6.1.1	ID	—
6.1.2	MARC	—
6.1.3	GMD	(1.1.2, 13.1.2)
6.1.4	SMD	(1.1.2, 13.1.2)
6.1.5	YEAR	—
6.1.6	CNTRY	—
6.1.7	TTLL	—
6.1.8	TXTL	—
6.1.9	ORGL	—
6.1.10	REPRO	—
6.1.11	PSTAT	—
6.1.12	FREQ	(13.7.3.0)
6.1.13	REGL	—
6.1.14	TYPE	—
6.1.15	ISSN	(1.8.1, 13.8.1)
6.1.16	XISSN	(1.8.1, 13.8.1)
6.1.17	NLDPN	—
6.1.18	CODEN	—
6.1.19	ULPN	—

6.2	記述ブロック	
6.2.1	TR	1.1, 13.1, 22
6.2.2	ED	1.2, 13.2
6.2.3	VLYR	1.3, 13.3
6.2.4	PUB	1.4, 13.4
6.2.5	PHYS	1.5, 13.5, 各章の.5
6.2.6	VT	(1.7, 1.8.2, 13.7, 13.8.2), 22, 26
6.2.7	NOTE	1.7, 13.7
6.2.8	PRICE	1.8.3, 13.8.3
6.3	変遷ブロック	
6.3.1	FID	—
6.3.2	BHNT	(13.7.3.2)
6.4	リンクブロック	
6.4.1	PTBL	—
6.4.2	AL	23
6.4.3	UT	—
6.5	主題ブロック	
6.5.1	CLS	25
6.5.2	SH	24

